

2022年度  
(令和 4 年度)

事業報告書

決算報告書

社会福祉法人 東京有隣会

# 2022 年度 法人事業報告書

<b>理事 評議員</b>	理事長 奥 典之 業務執行理事 工藤 宏一郎 業務執行理事 古閑 学 理事 樋口 輝彦 理事 小西 敏郎 理事 川上 雪彦 理事 板垣 正幸 理事 飯田 育代 監事 銅谷 勝子 監事 吉川 洋志	評議員 岩崎 雄大 評議員 杉村 栄一 評議員 玉川 寿夫 評議員 田邊 茂男 評議員 三枝 健二 評議員 岡本 達二 評議員 白石 弥生子 評議員 田尻 康 評議員 長岡 光春
<b>辞任退任 理事 評議員</b>	理事 南 光保	評議員 斎藤 眞 評議員 金澤 弘道
<b>理事会</b>	<p><b>第 262 回 2022 年 6 月 3 日 (有隣ホーム 中会議室)</b></p> 第 1 号議案 2021 年度 事業報告・決算承認の件 及び社会福祉充実残高承認の件 第 2 号議案 任期满了評議員に係る改選候補者承認の件 第 3 号議案 評議員選任解任委員会開催承認の件 第 4 号議案 有隣ホーム 事務長選任の件 第 5 号議案 アスベスト処分契約の件 第 6 号議案 地位確認請求・損害賠償請求裁判の件 報告議案 1 理事長報告及び業務執行理事の報告 報告議案 2 中期計画経過報告 報告議案 3 特定職員の退職に伴う退職共済金補填支給報告 報告議案 4 理事会、評議員会スケジュール	
	<p><b>第 263 回 2022 年 12 月 9 日 (WEB 開催)</b></p> 第 1 号議案 定款変更の件 第 2 号議案 病院 就業規則改定の件 第 3 号議案 病院 定年後職員就業規則改定の件 第 4 号議案 病院 非常勤職員就業規則改定の件 第 5 号議案 法人 育児・介護休業規程制定の件 第 6 号議案 介護施設 就業規則改定の件 第 7 号議案 介護施設 定年後職員就業規則改定の件 第 8 号議案 介護施設 非常勤職員就業規則改定の件 第 9 号議案 介護施設 給与規程改定の件 (その 1) 第 10 号議案 介護施設 給与規程改定の件 (その 2) 第 11 号議案 介護施設 施設長給与規程改定の件 第 12 号議案 有隣ホーム 施設長選任の件 第 13 号議案 居宅介護支援事業所 開設の件 第 14 号議案 法人組織体制の件 第 15 号議案 評議員会開催の件 報告議案 1 理事長報告・業務執行理事報告 報告議案 2 上期 事業報告・決算報告 報告議案 3 建築進捗報告 報告議案 4 中期計画経過報告 報告議案 5 理事会、評議員会スケジュール	

	<p><b>第 264 回 2023 年 3 月 10 日 (有隣ホーム 中会議室)</b></p> <p>第 1 号議案 2022 年度 補正予算承認の件  第 2 号議案 2023 年度 事業計画・予算承認の件  第 3 号議案 中期行動計画 承認の件  第 4 号議案 定款変更の件  第 5 号議案 定款細則改定の件  第 6 号議案 介護施設 運営規程改定の件  第 7 号議案 任期満了評議員に係る改選候補者承認の件  第 8 号議案 評議員選任解任委員会開催承認の件  第 9 号議案 有隣病院院長 選任の件  第 10 号議案 第 2 有隣ホーム施設長 選任の件  報告議案 1 理事長報告・業務執行理事報告  報告事項 2 理事会、評議員会スケジュール</p>
評議員会	<p><b>第 78 回 2022 年 6 月 24 日 (有隣ホーム ホール)</b></p> <p>第 1 号議案 2021 年度事業報告・決算承認の件  及び社会福祉充実残高承認の件  報告議案 1 理事長報告及び業務執行理事報告  報告議案 2 地位確認請求・損害賠償請求裁判の報告  報告議案 3 理事会・評議員会スケジュール</p> <p><b>第 79 回 2023 年 3 月 24 日 (有隣ホーム ホール)</b></p> <p>第 1 号議案 定款変更の件  報告議案 1 理事長・業務執行理事報告  報告議案 2 2022 年度 補正予算報告  報告議案 3 2023 年度 事業計画・予算報告  報告議案 4 中期行動計画報告  報告議案 5 建築計画経過報告  報告議案 6 理事会・評議員会のスケジュール報告</p>
評議員 選任解任 委員会	<p><b>第 8 回 2022 年 6 月 21 日 (WEB 開催)</b></p> <p>第 1 号議案 任期満了評議員 改選の件</p>
主な 事業経過	<p><b>法人監査</b>  2022 年 5 月 20 日 会計監査  2022 年 5 月 25 日 監事監査</p> <p><b>東京有隣会研究発表会</b>  2023 年 2 月 8 日 開催</p> <p><b>ハラスメント研修会</b>  2023 年 2 月 28 日 弁護士 井口博氏</p> <p><b>新型コロナウイルス感染症対策本部会議</b>  毎週月曜日 開催</p> <p><b>新棟建設作業部会</b>  毎月第 4 木曜日 開催  2022 年 8 月 1 日 別館及び給食棟を事業供用開始</p>
危機管理	法人 BCP 策定、法人消防計画見直し、各種ハラスメント対応
表彰	2022 年 5 月 19 日 令和 4 年度永年勤続職員表彰 (有隣病院 10 名、第 2 有隣ホーム 1 名)

# 2022年度 有隣ホーム事業報告書

中長期計画及び2022年度事業計画に基づき下記の事項を実施した。

## 1. 中長期計画

### (1) 関係機関との連携強化

- ・ 2022年度は数度、入所者及び職員に新型コロナウイルス感染者が出たが、有隣病院との連携により感染拡大を防ぎ収束させることが出来た。
- ・ 有隣病院が毎週主催するコロナ対策本部会議に参加し、情報を共有した。病院の協力による迅速なPCR検査により、入所者及び職員の感染拡大の防止ができた。

### (2) 人材の確保と育成

- ・ 2021年度に配置基準を大きく上回る職員増員を行っていたため、財政のひっ迫があった。
- ・ 2023年度に向け主任・副主任の人材を刷新し、若い力を活用した改革への準備が出来た。
- ・ 人材育成・研修体制の確立が課題であったが、新年度に向け、体制を確立するための準備を行うことが出来た。

### (3) 防災・事故等の対策と徹底

- ・ 数度のコロナウィルスクラスターなどがあり例年通りの防災訓練実施は難しく簡素化し行った。
- ・ 介護事故については多職種による原因究明と防止策の検討、再発防止を行なった。

### (4) ボランティア・地域との交流の回復と拡大

- ・ 新型コロナウイルスの感染が収まらず、今年度もボランティアや地域との交流は困難だった。
- ・ 地域の団体の協力によりZOOMを使った新しい活動を実施することが出来た。

### (5) 情報の一元化と共有による業務の効率化を図る

- ・ 情報共有のためLINE WORKSを活用した。職員も使いこなせるようになっている。

## 2. 2022年度事業計画

### (1) サービス計画

#### ① 生活全般

- ・ 1月より入所者の再アセスメントを実施し、機能訓練・栄養ケアマネジメントの強化に努めた。
- ・ 各フロアの業務統合を目指し、勤務体系の見直しを行った。

#### ② 健康管理

- ・ 世田谷保健所と有隣病院の協力により、入居者及び職員のコロナワクチン接種を進めたことで新型コロナウイルスの施設内感染を最小限に抑えることができた。
- ・ 褥瘡ケアマネジメントを継続し、褥瘡の予防と改善に努めることができた。
- ・ 併設病院ICTチームとの連携・コロナ対策本部会議により新型コロナウイルスの入居者感染は最小限にとどめることが出来た。
- ・ 入所者の入院による退所が多く、稼働率の低下があったが年度末に回復の方向に向かえた。

#### ③ 給食管理

- ・ 管理栄養士を中心に、より良い食事の提供に向けた検討を日常的に行う事が出来た。
- ・ 栄養マネジメント強化加算は次年度当初より算定準備ができています。
- ・ フロアとの連携を密に行い、利用者に合わせた食形態による提供が出来ている。

### (2) 設備計画

- ・ 各設備に不具合が出ている。財政状況を考慮しその都度修理対応しているが、次年度はボイラー等を可能な範囲で入れ替えをしていく予定である。

### (3) 危機管理

#### 〈防災・事故対策〉

- ・ 職員体制の難しさはあったが、可能な範囲で防災訓練を実施した。
- ・ 新型コロナウイルスの拡大、クラスターがあり地域との連携は図れなかった。
- ・ 有隣病院ICTとの連携により新型コロナの影響を最小限に抑えることができた。
- ・ 福祉避難所としての活動・情報共有は世田谷区と区内各施設でオンラインで行った。

### (4) 業務改善

- ・ 年度末に次年度に向けて主任副主任の刷新を行い新体制を構築した。
- ・ 2階フロアを1つに統合し、少ない人員での業務遂行が出来るようシミュレーションを始めた。

### (5) 職員計画

#### ① 研修計画

- ・ 新型コロナウイルス感染の拡大の影響で外部研修の実施ができなかった。現在の研修の在り方を

見直し、令和5年度より公益財団法人 介護労働安定センターに研修計画作成及び法定研修の実施を外部委託することとし、準備を始めた。

②職員計画

- ・2022年度は介護現場で過剰な人員配置が生じていたが、1月より適正な人員配置にするべく、業務実施の視点と財政面の視点の両面から見直し作業を始めた。
- ・派遣職員の活用については、最小限の利用に努めた。

<2022年度の事業活動総括>

- ・2021年度半ばからの過剰な人材採用による財政状況の悪化があった。そのため年度末より財政面と現場業務の見直しを行い、適正人員への修正に追われた。
- ・コンプライアンスを重要視し、職員教育、研修、委員会の構成を一新する作業を行う事が出来た。
- ・赤字収支だった前々年度・前年度の修正をするべく、稼働率の回復と経費節減を始めた。

1. 月別入退所状況

	新入所	退所	月末現在	延人数	1日平均
4月	3	5	92	2,824	94.1
5月	1	3	90	2,820	91.0
6月	3	1	92	2,731	91.0
7月	4	0	96	2,930	94.5
8月	0	2	94	2,943	94.9
9月	2	2	94	2,918	93.8
10月	4	3	95	2,943	94.9
11月	2	3	94	2,847	94.9
12月	3	6	91	2,879	92.9
1月	2	5	88	2,766	89.2
2月	6	3	91	2,503	89.4
3月	4	1	94	2,859	92.2
計	34	34		33,963	92.7

(人)

2. 入退所者の内訳

新規入所者( )は再入所					
内訳	自宅から	病院から	老健施設	その他	計
男	0	3 (2)	2	0	5 (2)
女	8	10 (0)	6	5	19 (0)
計	8	13 (2)	8	5	34 (2)
開設以来					
累計	—	—	—	—	2,461

(人)

退所者						
内訳	死亡	長期入院	家族引取	自主退所	他の施設	計
男	3	2	0	0	0	5
女	23	6	0	0	0	29
計	26	8	0	0	0	34
開設以来						
累計	775	1,543	1	0	0	2,402

3. 入所期間

期 間	男	女	計
1年未満	3	26	29
1年以上～2年未満	6	13	19
2年以上～3年未満	1	13	14
3年以上～5年未満	1	21	22
5年以上10年未満	2	7	9
10年以上～15年未満	1	0	1
15年以上～20年未満	0	0	0
20年以上	0	0	0
計	14	80	94

(人)

平均入所年数:2.5年

4. 年齢構成

年 齢 階 層	男	女	計	%
65歳未満	1	0	1	1.1
65歳～69歳	0	1	1	1.1
70歳～74歳	1	0	1	1.1
75歳～79歳	1	9	10	10.6
80歳～84歳	2	14	16	17.0
85歳～89歳	4	29	33	35.1
90歳～94歳	4	23	27	28.7
95歳～99歳	0	5	5	5.3
100歳以上	0	0	0	0.0
計	13	81	94	100
最年少	53	65	—	—
最高齢	92	98	—	—
平均年齢	82.6	87.0	86.4	—

(人)

5. 要介護度

種類	男	女	計	%
自立	0	0	0	0.0
要支援 1	0	0	0	0.0
要支援 2	0	0	0	0.0
要介護 1	0	0	0	0.0
要介護 2	0	0	0	0.0
要介護 3	0	15	15	16.0
要介護 4	7	24	31	33.0
要介護 5	6	42	48	51.0
合計	13	81	94	100

※平均要介護度 4.3

6. 入所者の心身の状況

「障害老人の自立度判定基準」による

自立度	男	女	計	%
自立				0.0
J1				0.0
J2			0	0.0
A1		2	2	2.1
A2	1	5	6	6.4
B1	2	19	21	22.3
B2	5	26	31	33.0
C1	1	3	4	4.3
C2	4	26	30	31.9
計	13	81	94	100

「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」による

自立度	男	女	計	%
なし	1	6	7	7.4
I	3	6	9	9.6
Ⅱa	1	9	10	10.6
Ⅱb	2	21	23	24.5
Ⅲa	1	13	14	15.0
Ⅲb	1	7	8	8.5
Ⅳ	4	17	21	22.3
M	0	2	2	2.1
計	13	81	94	100

7. 面会

面会回数	人数	%
200回以上	0	0.0%
100回以上	0	0.0%
50回～99回	1	0.8%
20回～49回	11	8.7%
10回～19回	22	17.3%
5回～9回	21	16.5%
1回～4回	44	34.6%
なし	28	22.1%
計	127	100.0%

8. 外出

外出回数	人数
20回以上	2
15回以上	0
10回以上	0
5回以上	8
5回未満	2
計	12

9. 外泊

年間延日数	人数	回数	人数
50日以上	0	10回以上	0
20日～49日	0	5回～9回	0
10日～19日	0	5回未満	0
5日～9日	0		
5日未満	0		
計	0	計	0

10. 行事

年間	行事
4月	誕生会 お花見散歩
5月	誕生会 手作りおやつのか
6月	誕生会
7月	誕生会
8月	誕生会 手作りおやつのか
9月	誕生会 敬老祝賀会
10月	誕生会
11月	※クラスターの為 誕生者に花束贈呈のみ
12月	誕生会 冬至ゆず湯
1月	誕生会 新年祝賀会
2月	誕生会
3月	誕生会 ひな祭り

\* 行事食は毎月実施

\* コロナ禍により外部から訪問のある行事は未実施

11. クラブ・余暇活動等

名称	参加者	実施日
まほの会(読み聞かせ)	52名	web開催
訪問理美容(任意)	313名	月2回

12. 食事

(1) 食事形態

食事形態		人数
常食 (ごはん)	副食普通	21
	副食刻み	0
軟食 (全粥)	副食普通	6
	副食刻み	43
	副食ミキサー	0
ミキサー食		12
特別食	流動食	0
	ゼリー食	11
	糖尿食	0
経管栄養		1
計		94

(2) 食品構成による一人当たり栄養給与量

項目	栄養基準量	実栄養給与量(平均)	
エネルギー	1400 kcal	1415 kcal	
蛋白質	55.0 g	58.2 g	
脂質	40.0 g	42.5 g	
炭水化物	215.0 g	209.5 g	
無機質	カルシウム	680 mg	742 mg
	鉄	7.0 mg	7.3 mg
	カリウム	2000 mg	1835 mg
	A(レチノール当量)	700 μg	733 μg
ビタミン	B1	1.00 mg	1.19 mg
	B2	1.10 mg	1.08 mg
	C	100 mg	119 mg

日本人の食事摂取基準策定に基づき基準量を定める

(3) 栄養ケア・マネジメントの実施

(4) 食事摂取状況及び嗜好の把握

- ・嗜好調査＝実施予定、個別に随時
- ・残菜調査＝毎食

(5) 管理栄養士・調理員による喫食状況の把握

(6) 潤いのある食事の提供

- ・行事食＝12回、誕生会12回

(7) O-157及びノロウイルス等感染症対策

- ・衛生管理の徹底、大量調理マニュアルに基づいた衛生管理

(8) 食事の質の向上

13. 健康管理

(1) 併設病院の協力により、緊急時の早期対応・治療に努めた

- ・インフルエンザ・肺炎球菌ワクチンの予防接種に努め、2022年度はインフルエンザの感染報告数は「ゼロ」となった
- ・便通調整は、医師の指示に基づき個人に合った投薬、浣腸、排便を実施した
- ・医師の指示に基づいた治療食と、適切な時期に食形態の検討を医師・CW・栄養・歯科と連携して行うことができ、経口摂取の維持継続に努めた
- ・ICTの指示のもと新型コロナ感染症拡大防止に引き続き努めるも、感染者が出てしまったが外部施設への入所・外部病院への入院など適切に対応した。

(2) 健康診断

- ・特定健診、長寿健診の実施
- ・肺がん検診、大腸がん検診の実施
- ・週2回嘱託医の診療時必要な検査(採血・検尿・X-P・心電図・CT・点滴)の実施

(3) 生活管理

- ・経管栄養実施者が、1名(胃瘻)
- ・在宅酸素療法実施者は3名であった

(4) 診察(健診含む)

嘱託医(内科)、協力病院(有隣病院)											他医療機関										計	
診療科目	内科	外科	整形	形成外科	眼科	精神科	皮膚科	歯科	泌尿器	神経内科	計	婦人科	整形	脳外科	眼科	内科	精神科	耳鼻科	歯科	泌尿器		救急
受診日等	週3回と必要時	週1回	週4回	週1回	週1回	週1回	週2回	週5回	必要時	必要時		必要時										
実人数	125	0	23	28	0	19	64	0	0	16	275	1	2	0	6	2	0	0	76	2	0	89
延人数	2437	0	61	64	0	133	244	0	0	214	3153	3	4	0	13	4	0	0	309	13	0	346

## (5)新規入所時の病名

病名	人数
認知症	16
高血圧	8
脳梗塞	4
大腿骨骨折後	3
肺炎	2
糖尿病	2
呼吸不全	2
尿路感染	1
パーキンソン病	1
脊椎間狭窄症	1
統合失調症	1
甲状腺機能障害	1
胃潰瘍	1

## (6)入院時の病名

主病名	男	女	計
コロナ感染症	3	17	20
誤嚥性肺炎	1	2	3
経口摂取困難	2	4	6
心不全	1	3	4
尿路感染	0	2	2
大腿骨骨折	0	2	2
尿路結石	0	2	2
急性胆管炎	0	2	2
胆のう炎	0	1	1
心房細動	0	1	1
腸閉塞	0	1	1
脳梗塞	1	0	1
腎周囲膿瘍	0	1	1

## (7)死亡原因(在籍中の死亡退所者)

病名	男	女	計
経口摂取困難	1	6	7
老衰	0	6	6
心不全	2	2	4
その他	0	9	9
計	3	23	26
内看取りケア	2	12	14

## (8)入院、退院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	2	2	0	1	3	5	2	18	5	3	0	1	42
退院	1	2	0	0	1	2	4	10	6	1	1	0	28

## II. 地域交流

## 1. ボランティア受入

グループ名	人数	グループ名	人数	備考
まほの会 (web)	9			



## 2. 訪問

所属名称
コロナ禍の影響により中止

## 3. 体験学習

学校、団体等名称
コロナ禍の影響により中止

## 4. 実習、研修

学校、団体等名称	延人数
AS教育センター	9
計	9

## 5. 見学・その他

項目	備考
新規入所 事前説明	34
入所希望相談	随時受付

## Ⅲ. ショートステイ事業

空床利用につき、2022年度は実績なし

## Ⅳ. 研修

### 1. 施設内研修

研修内容	日程	回数	参加人数	備考
メディアパスアカデミー法定研修	4月1日～3月31日		全職員	web研修
身体拘束と虐待 基礎研修	6月1日～9月30日	9	35	
認知症研修(認知症の理解)	6月1日～10月31日	7	28	

### 2. 施設外研修

研修内容	参加者・人数
東京都介護支援専門員研修	2
福祉サービスの医療専門性について	1
全国高齢者施設看護師研修	1
生活相談員研修会	1
機能訓練計画書作成に関する研修	1

## V. 会議

会議名	対象	実施回数	備考
職員会議	全職種	10	月次予定、連絡等
主任会議	施設長、生活相談員、各主任	10	基本処遇、職員指導等
衛生委員会	全職種	11	職員健康管理、安全管理の予防及び指導等
災害対策省エネ委員会	防災委員	1	防災訓練 防災指導 計画
リスクマネジメント委員会	施設長 危機管理室長 介護職	10	ヒヤリハット 事故報告書の集計 他
身体拘束・虐待防止・人権	介護主任 介護職	10	拘束廃止に向けての職員意識啓発
人材育成OJT	施設長 危機管理室長 介護職	5	新人職員研修 実習生受け入れ
感染対策委員会	生活相談員 介護職 看護師	9	感染防止及び対策等
入所検討委員会	生活相談員 全職種 毎入所時に書面確認と委員会開催2回		新入所の状況 予定など
生活向上委員会	介護主任 介護職	6	利用者処遇の見直し 他
褥瘡予防委員会	全職種	4	褥瘡の予防 注意者の確認 など
ケアカンファレンス	介護支援専門員 介護職員 管理栄養士 看護師	36	ケアプラン見直し及び作成
第三者委員会	生活相談員 第三者委員	1	書面により開催

※ 11月 12月は施設内クラスター発生により書面確認など簡略化した

## VI. 防災対策 防災訓練

月	訓練内容	消防署の 出向指導	参加者数	
			職員	利用者
4月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	2	0
5月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	2	0
6月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	2	0
7月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	2	0
8月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	2	0
9月	シェークアウト訓練 セコム安否確認テスト送信	無	全職員	0
10月	消防設備機器の確認と取り扱い説明	無	2	0
11月	自家発電機の試運転	無	3	0
12月	自家発電機の試運転	無	2	0
1月	消防設備と発電機の取り扱い説明	無	2	0
2月	消防設備と発電機の取り扱い説明	無	3	0
3月	ウォークスルー訓練及び夜間時の対応確認	無	39	0

※消火器・消火栓使用方法訓練は随時実施

※発電機点検、運転訓練は毎月実施

VI. 職員構成

職 種	運営規程 に基づく 配置数	常勤職員				非常勤職員				
		今年度当初 在籍者*1	採用 *2	異動	退職 *3	次年度当初 在籍者*4	今年度当初 在籍者*1	採用 *2	退職 *3	次年度当初 在籍者*4
施設長	1	1	1	1		1	0			0
施設長補佐		1		1			0			0
事務長		0		1			0			0
事務員	3	1	2		1	2	2			2
医師	1	0					1			1
機能訓練指導員	1	1				1	0			0
看護職員	3	3			1	2	6	3	3	6
（内 看護師）		(2)				(2)	(5)			(5)
介護職員	30	33	3	1	9	27	15		3	13
（内 介護福祉士）		(26)				(19)	(6)			(5)
生活相談員	1	1	2		1	2	0			0
介護支援専門員	1	1				1	0			0
（内 兼務）	(1)	(1)				(2)	(0)			(0)
栄養士	1	3			1	2	0			0
		(3)				(2)				(0)
調理員		1				1	10	4	7	7
宿直員		0								3
日直員		0					3			1
洗濯員		0					1			
計(兼務除く)	42	46	8	4	13	39	38	7	13	33

\* 1 今年度当初在籍者には4/1採用者を除く

\* 2 今年度採用者は4/1～3/31の採用者(4/1採用者を含む)

\* 3 今年度退職者は4/1～3/31の退職者(3/31の退職者を含む)

\* 4 次年度当初在籍者には次年度4/1採用者を除く

常勤の平均年齢=45歳6ヶ月、平均勤続年数=4年7ヶ月

非常勤の平均年齢=59歳8ヶ月、平均勤続年数=5年2ヶ月

年度末退職者  
 常勤  名      年度末退職者  
 非常勤  名

# 2022年度 第2有隣ホーム事業報告書

中長期計画および2022年度事業計画に基づき下記の事項を実施した。

## 1. 中長期計画

### (1) 関係機関との連携強化

- ・昨年度に引き続き、主に感染対策上の連携を強化し、コロナ感染等の発生を最小限に留めた。2022年12月にクラスターが発生したが、病院ICTと連携し検査や隔離体制の助言や指導の下、混乱を生じる事なく対応する事ができた。
- ・人材確保において有隣ホームと協働し、採用に結び付けるなど一定の成果を得る事ができた。

### (2) 人材育成と確保

- ・WEBを中心とした施設内外の研修に積極的に参加し職員のスキルと意欲の向上を図った。
- ・施設間の人事交流においては主に事務部門が積極的に交流をし業務改善に取り組んだ。
- ・不適切介護の防止の為、委員会活動を機能させ、啓発活動を実施した。

### (3) 防災・事故等の対策徹底

- ・感染症に対しては引き続き病院ICTと連携し専門的助言を受け適切に対応をした。クラスター発生時においても、行政機関とも連携をしながら適切に対応する事ができた。
- ・介護事故発生時には緊急事故対策委員会を開催し、事故の原因究明と再発防止に努めた。

### (4) 建物改築対策

- ・引き続き病院と連携し建物合築に関わる取り組みを行った。施設の老朽化対策については、最低限必要な修繕を選別して実施した。

### (5) ボランティア、地域との交流拡充

- ・感染対策上、ボランティアの受け入れについては、極少数に留まったものの、感染対策に留意しながら演奏グループや職業体験等の受け入れを一部実施する事ができた。WEB等を利用した交流会については、実施することができなかった。

## 2. 2022年度事業計画

### (1) サービス計画

#### ①生活全般

- ・職員スキルアップによる安全意識の向上に注力した結果、大きな介護事故等は更に減少した。
- ・コロナ感染症の対策としては、11月には東京都の感染症即応支援チームに助言・指導を頂き、特に標準予防対策を強化した。12月クラスター発生後、反省点として挙げられた感染対策について特に初動対応が迅速に行えるように対応物品等を整備した。
- ・柔軟な付加サービスを提供する計画であったが、感染対策の影響もあり実施できなかった。
- ・11月に家族懇談会を開催し、利用者ご家族に新棟建設や感染対応等について報告を行った。
- ・看取り体制については家族に寄り添った対応を心掛け、看取り体制への家族参加を積極的に推進した。
- ・職員間の情報伝達は委員会やミーティング、情報伝達ツール等を活用し積極的に実施した。
- ・研修やミーティング等で認知症ケアの理解を深め、身体拘束や虐待ゼロを維持した。

#### ②健康管理

- ・歯科衛生士を採用し、口腔ケア指導体制を強化。口内環境の改善に取り組んだ。
- ・各委員会メンバーを中心に、情報共有を行いつつ、生活リハビリを通してADLを維持・向上した。
- ・褥瘡対策としては適切なマットレス・エアマットの管理を徹底し予防対策に努めた。
- ・ホームドクターや有隣病院と連携し、必要な医療へ早期に対応する事ができた。
- ・コロナ感染対策については、病院ICTと意見交換を密に行い、感染の防止に努めた。

#### ③給食管理

- ・給食が直営方式に移行した事に伴って厨房職員の衛生管理、業務調整を行い運営した。有隣ホームとの連携については、管理栄養士を中心に情報共有を図った。
- ・行事食、郷土料理、選択食、ホーム喫茶等の楽しめる食事の提供に努めた。
- ・利用者本人と家族に意向を聞きつつ、本人の体調にあった食事の形態や内容の調整を行った。

#### ④ショートステイ

- ・入所前の検査を徹底し、コロナ感染症の持込みを防止した。
- ・ご家族や地域の居宅介護支援事業所と連携し、緊急利用や空床利用につなげた。
- ・ショートステイの送迎対応について一定のニーズはあるが、組織体制的に着手する事ができなかった。また、コロナ感染症の影響を大きく受け利用率が低迷した。

(2) 設備計画

- ・情報共有システムの活用を強化して、業務効率化を図った。  
ICT機器に関しては現場での積極的な利用により、業務オペレーションが一部改善された。
- ・新棟に関する設備の選定について、各メーカーや施工業者と打合せを重ね検討した。  
施設内においても選定に関する委員会を立ち上げ定期的に協議した。
- ・新規セキュリティ機器の導入は、新棟への移転を考慮し見送った。

(3) 危機管理

①防災計画・事故対策

- ・災害BCP計画の更新は停滞しており、課題が残る状況。福祉避難所の開設訓練は簡易的に実施。  
改善点を洗い出した。総合防災訓練は実施する事ができず、次年度の課題とした。

②防犯計画

- ・セコムの機械警備を利用し防犯対策に努め安全を保つ事ができた。

(4) 職員計画

①研修計画

- ・施設内外の研修はWebを活用する事で多くの職員が研修を行える体制とした。  
研修内容については、より個別かつ効果的な内容とする事が課題。

②職員数計画

- ・昨年度に引き続き介護職の退職（2021年度5名、2022年度4名）があったが、業務改善を継続して行う事で職員補充を抑える事ができた。
- ・介護支援専門員の資格取得支援を継続したが取得には至らなかった。

<2022年度の事業活動総括>

- ・安定した経営基盤の構築を計画として掲げ、人員調整や業務改善等を実施し、一定の成果を挙げる事ができた。次世代のリーダーを担う人材育成が急務であるが、業務過多の為、育成の機会を設ける事ができなかった。新棟建設に関し様々な課題が発生したが、利用者への影響を最小限にするため、法人内施設と連携をしながら運営した。

I. 入所者の状況

1. 月別入退所状況

(人)

	入所	退所	月末現在	延人数	1日平均
4月	4	4	75	2,275	75.8
5月	5	2	78	2,363	76.2
6月	4	3	79	2,345	78.2
7月	1	2	78	2,452	79.1
8月	3	1	80	2,453	79.1
9月	2	2	80	2,381	79.4
10月	0	0	80	2,480	80.0
11月	0	0	80	2,400	80.0
12月	0	4	76	2,447	78.9
1月	6	4	79	2,420	78.1
2月	3	5	76	2,177	77.8
3月	5	3	78	2,394	77.2
計	33	30		28,587	78.3

2. 入退所者の内訳

(人)

新規入所者 ( ) は再入所					
内訳	自宅から	病院から	老健施設	その他	計
男	5	3 (0)	4	1	13 (0)
女	6	8 (0)	5	1	20 (0)
計	11	11 (0)	9	2	33 (0)

退所者						
内訳	死亡	長期入院	家族引取	自主退所	他の施設	計
男	4	4	0	0	0	8
女	17	4	0	0	1	22
計	21	8	0	0	1	30

3. 入所期間

(人)

期 間	男	女	計
1年未満	11	16	27
1年以上～2年未満	4	7	11
2年以上～3年未満	0	10	10
3年以上～5年未満	1	14	15
5年以上10年未満	2	12	14
10年以上～15年未満	1	0	1
15年以上～20年未満	0	0	0
20年以上	0	0	0
計	19	59	78

平均入所期間 (月)	男	26
	女	35
	計	33

4. 年齢構成

(人)

年齢階層	男	女	計	%
65歳未満	1	0	1	1.3%
65歳～69歳	0	0	0	0.0%
70歳～74歳	2	0	2	2.6%
75歳～79歳	1	1	2	2.6%
80歳～84歳	5	7	12	15.4%
85歳～89歳	8	17	25	32.1%
90歳～94歳	1	14	15	19.2%
95歳～99歳	1	17	18	23.1%
100歳以上	0	3	3	3.8%
計	19	59	78	100.0%
最年少	49	75	—	—
最高齢	96	108	—	—
平均年齢	82.5	90.8	88.8	—

5. 要介護度

種類	男	女	計	%
自立	0	0	0	0.0%
要支援	0	0	0	0.0%
要介護1	0	0	0	0.0%
要介護2	0	2	2	2.6%
要介護3	5	10	15	19.2%
要介護4	11	24	35	44.9%
要介護5	3	23	26	33.3%
合計	19	59	78	100.0%

※平均要介護度 4.09

6. 入所者の心身の状況

「障害老人の自立度判定基準」による

	男	女	計	%
自立	0	0	0	0.0%
J1	0	0	0	0.0%
J2	0	0	0	0.0%
A1	1	6	7	9.0%
A2	5	6	11	14.1%
B1	4	15	19	24.4%
B2	6	15	21	26.9%
C1	0	1	1	1.3%
C2	3	16	19	24.4%
未判定	0	0	0	0.0%
計	19	59	78	100.0%

「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」による

	男	女	計	%
なし	0	0	0	0.0%
I	0	1	1	1.3%
II a	1	1	2	2.6%
II b	4	10	14	17.9%
III a	7	18	25	32.1%
III b	3	10	13	16.7%
IV	4	19	23	29.5%
M	0	0	0	0.0%
未判定	0	0	0	0.0%
計	19	59	78	100.0%

7. 面会

面会票による

面会回数	人数	%
200回以上	0	0.0%
100回以上	0	0.0%
50回～99回	0	0.0%
20回～49回	3	2.8%
10回～19回	17	15.7%
5回～9回	22	20.4%
1回～4回	50	46.3%
なし	16	14.8%
計	108	100.0%

8. 外出

外出回数	人数
20回以上	0
15回以上	0
10回以上	0
5回以上	1
5回未満	5
計	6

法人敷地内の散歩は除く

9. 外泊

年間延日数	人数	回数	人数
50日以上	0	10回以上	0
20日～49日	8	5回～9回	0
10日～19日	17	5回未満	30
5日～9日	7		
5日未満	3		
計	35	計	30

10. 行事

年間	行事
4月	お花見・ホーム喫茶
5月	端午の節句・菖蒲湯・母の日ホーム喫茶
6月	父の日ホーム喫茶
7月	七夕ホーム喫茶
8月	盆供養・夏祭り
9月	お月見ホーム喫茶・敬老会
10月	運動会
11月	お茶会（ホーム喫茶）
12月	クリスマス会・ゆず湯
1月	お正月（ホーム喫茶）
2月	節分ホーム喫茶
3月	ひな祭りホーム喫茶

11. グループ・余暇活動

名称	参加者	実施日
歌の会（坂本）	2階, 3階	2022年度実施なし
一緒に遊び隊	2階, 3階	
童唄クラブ	2階, 3階	
ものまね体操	2階, 3階	

12. 食事

(1) 食事形態

食事形態	人数	
常食 （ごはん）	副食普通	26
	副食刻み	1
軟食 （全粥）	副食普通	6
	副食刻み	31
	副食ミキサー	0
ミキサー食	6	
一部ソフト食	3	
高カロリーゼリー食	15	
計	88	

※入所79名、SS9名（2023.3.31）

(2) 食品構成による一人当たり栄養給与量

項目	栄養基準量	実栄養給与量（平均）	
エネルギー	1400 kcal	1414 kcal	
蛋白質	55.0 g	57.5 g	
脂質	40.0 g	42.7 g	
糖質	210 g	209.8 g	
無機質	カルシウム※	650 mg	751 mg
	鉄	6.0 mg	7.3 mg
	亜鉛	8.0 mg	6.3 mg
	カリウム	2600 mg	1825 mg
ビタミン	A（レチノール当量）	650 μg	738 μg
	B1	1.00 mg	1.2 mg
	B2	1.10 mg	1.12 mg
	C	85 mg	115 mg

※日本人の食事摂取基準策定に基づき基準量を定める

(3) 栄養ケア・マネジメントの実施

- ・栄養ケア・カンファレンス 24回
- ・利用者個人の食事摂取状況、体調、体重のスクリーニングとモニタリング
- ・他職種と連携し、個人の状況に合わせた食事内容・補食等の検討
- ・栄養ケア計画の作成と家族への説明

(4) 行事を取り入れた季節感のある食事の提供

- ・行事食12回（季節膳、敬老会、正月等）、郷土料理24回

- (5) 利用者個人の状況に配慮した食事や水分の提供等
  - ・嚥下障害：各種とろみ剤・粥用凝固剤の使用、一部ソフト食提供
  - ・水分補給：ほうじ茶、電解質飲料、コーヒー、紅茶、電解質飲料ゼリーの提供
- (6) 給食委員会の実施（6回）
- (7) 嗜好と摂取状況の確認
  - ・嗜好調査年2回、摂取状況調査 都度
- (8) 非常食の備蓄（7日分）及び備蓄の消費期限品の有効活用
- (9) 衛生管理
  - ・食中毒及びノロウイルス感染予防のため衛生管理の実施
  - ・感染症対策における他部署と連携した衛生管理の徹底（消毒・使い捨て食器の使用等）

13. 健康管理

- (1) 健康管理
  - ・診療情報提出
  - ・予防接種
  - ・与薬管理の徹底
  - ・バイタルサイン・体重測定・食事摂取状態を把握し、異常の早期発見とその対応
  - ・施設医師との連携で疾病の管理を行い、安定した状態を維持（施設医師回診 3回/週 月・水・金）
- ◎感染症予防
  - ・感染症を持ち込まない、水際対策の徹底
  - ・毎月1回 感染症対策委員会
  - ・施設内研修と指導
  - ・発症予防、発生時の感染拡大予防
  - ・インフルエンザ及びノロウイルス対応と予防、新型コロナウイルス対策（職員の健康管理、行動の配慮等の徹底）
  - ・同対策としての面会制限、入所者管理等
- ◎褥瘡予防
  - ・看護師と機能訓練指導員、介護職員の連携により、褥瘡の早期発見と治療を行った
- ◎併設病院との連携
  - ・緊急時の早期対応
  - ・利用者の疾病管理としての各種検査（血液・心電図・レントゲン・CTなど）の実施
  - ・尿カテーテル、在宅酸素、点滴などの処置の実施
  - ・新型コロナウイルス感染症に対してPCR検査等の早期対応や病院ICTとの連携強化
- ◎看取りケア
  - ・今年度は15件の看取りケアを実施し、可能な限りご家族との最後の時間を過ごせるよう支援した

(2) 診察（健診）

嘱託医（内科）、協力病院（有隣病院）										他医療機関								
診療科目	内科	神経内科	外科	整形	眼科	精神科	皮膚科	歯科	泌尿器	計	内科	整形	循内	脳外	耳鼻科	歯科	形成	計
受診日等	週3回と必要時	週1回	週1回	週4回	週1回	週1回	週2回	週1回	隔週		必要時							
実人数	107	4	3	15	10	87	48	15	5	294	2	1	2	0	5	56	19	85
延人数	2,066	87	4	30	33	374	169	15	37	2,815	2	1	2	0	7	1,106	52	1,170

(3) 新規入所者の病名

病名	人数	病名	人数	病名	人数	病名	人数
認知症（7/17/1/マ、ビ <sup>+</sup> 含む）	20	糖尿病	0	脳梗塞後遺症	6	急性下肢動脈閉塞症	0
COPD	1	統合失調症	0	リウマチ	1	進行性核上性麻痺	0
心不全	0	パーキンソン病	1	大動脈解離	0	脳挫傷	0
大腿骨骨折後	2	廃用症候群	2	高血圧	0	脳出血後遺症	0

(4) 入院、退院の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	0	3	2	2	0	2	1	0	10	3	4	8	35
退院	3	1	1	1	0	0	1	1	5	1	3	4	21
死亡	2	1	0	2	1	1	0	0	4	1	5	1	18
1週間超入院	0	3	2	2	0	2	1	0	12	3	2	8	35
月末入院者	0	1	2	1	0	3	1	0	1	2	1	4	16
本入所	4	5	4	1	3	2	0	0	0	6	3	5	33
ショート入院	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2

## (5) 入院時の病名

主病名	男	女	計
肺炎（誤嚥性肺炎含む）	6	1	7
発熱精査	2	1	3
心不全	0	1	1
硬膜下血腫	0	0	0
痙攣発作	2	0	2
尿路感染症	2	0	2
イレウス	0	2	2
脳梗塞	1	1	2
胃潰瘍	0	1	1
低カリウム血症	0	1	1
吐血	0	1	1
下血	0	1	1
食思不良	1	1	2
腎盂腎炎	1	0	1
低酸素症	1	0	1
肝障害	1	0	1
コロナ	0	5	5
計	17	16	33

## (6) 死亡原因（在籍中の死亡退所者）

病名	男	女	計
老衰	3	6	9
肺炎	0	0	0
心不全	1	3	4
脳梗塞	0	1	1
経口摂取困難	0	3	3
C型肝炎	0	1	1
急性呼吸不全	0	0	0
膀胱癌	0	0	0
急性腎不全	0	0	0
誤嚥	0	0	0
認知症	0	0	0
計	4	14	18
（看取りケア）	(3)	(10)	(13)

## II. 地域交流

## 1. ボランティア受入

ボランティア	延べ人数	活動内容
個人	1	車椅子清掃
グループ	6	ヨージック演奏
合計	7	

## 2. 訪問

新型コロナウイルス感染拡大のため、今年度は受け入れなし。

## 3. 実習、研修受入

学校、団体等名称	延日数
東京医療学院大学	36
計	36

## 4. 体験学習

学校、団体等名称	延べ人数
船橋希望中学	4
計	4

## 5. 見学等

名称	人数
個人	42
団体	0
計	42

## III. ショートステイ事業

## 1. 月別実施状況

	利用者数			延利用床数	契約床数	利用率%	1日平均利用者数
	男	女	計				
4月	5	16	21	189	300	63.00%	6.30
5月	6	17	23	240	310	77.42%	7.74
6月	6	18	24	275	300	91.67%	9.17
7月	8	17	25	286	310	92.26%	9.23
8月	5	18	23	306	310	98.71%	9.87
9月	6	17	23	263	300	87.67%	8.77
10月	5	16	21	260	310	83.87%	8.39
11月	5	18	23	269	300	89.67%	8.97
12月	4	16	20	221	310	71.29%	7.13
1月	5	21	26	235	310	75.81%	7.58
2月	7	18	25	220	280	78.57%	7.86
3月	6	19	25	235	310	75.81%	7.58
年間計	68	211	279	2,999	3,650	82.16%	8.22



## IV. 研修、会議

## 1. 施設内

会議名	実施回数	備考
入所検討委員会	12	入所対象候補者の検討について
ケアカンファレンス	24	ケアプランの立案、見直し
委員会全体会	11	各部署・委員会からの報告、検討等について
生活向上委員会	12	排泄、入浴、リハビリ、施設環境美化、リネン関係などの複合的な検討
褥瘡委員会	12	褥瘡予防について
衛生委員会	11	職場環境（安全と衛生等）について
広報委員会	7	広報誌作成等
感染症対策委員会	12	感染症の防止について
省エネ委員会	11	節電による経費の削減について
リスクマネジメント委員会	12	事故防止対策について
虐待・身体拘束・接遇向上	12	拘束防止・虐待防止について
人権委員会	12	拘束・虐待・認知症個別ケアについて
給食委員会	10	食事環境の整備について
OJT・研修委員会	11	全職員のスキルアップのための研修等の計画、検討
職員会	12	職員の意見交換
災害対策委員会	11	防災と災害対策について
幹部会議	15	幹部職員による総合的な全体会議
ICT検討委員会	5	ICT機器の評価、業務オペレーション検討
行事委員会	9	行事・クラブ活動・レクリエーションの充実

## 2. 職場内研修 第2有隣ホーム、有隣ケアセンター、一部合同企画

研修内容	日程	回数	参加人数
メディパスアカデミー介護法定研修（web研修）	4/1～2/28	—	全職員
事業計画・個人目標設定説明	4月		常勤職員全体
排泄介助研修 排泄介助低頻度交換の実現に向けて	6/16～	複数回	25
外部講師による認知症ケア研修	10/27	1	7

## 3. 施設外

認知症介護実践者研修	介護職員
車椅子の基礎研修	介護職員
フットケア研修	介護職員
コロナ感染拡大予防に関するオンライン研修	施設長
多職種にわたるライブ加算マネジメント	事務・相談員
防火防災管理者研修	施設長
職場内研修担当者になった時に必要な基礎知識～人材育成・定着に生かす研修とは～	介護職員
社会福祉事業従事者人権研修1	介護職員
社会福祉事業従事者人権研修2	介護職員
介護報酬請求事務に関する研修会（基礎編）	事務・相談員
福祉施設等感染症対策指導者養成研修	施設長
世田谷区清掃・リサイクル部主催 廃棄物管理責任者講習会	事務
高齢者虐待防止研修	相談員
社会福祉法人 正吉福祉会 風の杜上原 人材交流研修	幹部職員
生活相談員リスクマネジメント研修会	相談員
介護報酬請求事務に関する研修会（応用編）	事務・相談員
フィジカルアセスメントオンラインセミナー	看護師
恵泉女学園クリスマス勉強会	介護職員
モルテンオンラインセミナー研修 ～床ずれゼロを目指して～	介護職員
SWING財務会計システム 決算処理編	会計

## V. 職員構成

職 種	運営規程に基づく配置数	常勤職員						非常勤職員					
		今年度当初在籍者	採用	異動		退職	次年度当初在籍者	今年度当初在籍者	採用	異動		退職	次年度当初在籍者
				入	出					入	出		
施設長	1	1					1						
生活相談員	1	2(1)	1			1(1)	2	1					1
医師	1							1					1
機能訓練指導員	1	1					1	1					1
看護職員	3	3					3	4	1				5
介護職員	30	31(3)	1			4(1)	28(2)	3	1	2			6
(内 介護福祉士)		(27)		※1取得		(4)	(24)	(1)	(1)	※1取得			(3)
介護支援専門員	1	(3)				(1)	(2)						
事務員		2					2	1					1
栄養士	1	5(1)	1			2(1)	4						
調理員				1			1	9	3		1	2	9
宿直員								1					1
日直員								2					2
その他								3		2			1
用務員													(委託)
計(実人数)	38	44	3	1	0	5	42	26	5	0	1	2	28

※退職者には年度末退職者を含む

※次年度当初在籍者には次年度4/1採用者を除く

常勤の平均年齢=42.31歳、平均勤続年数=6年6ヶ月

年度末退職者

非常勤の平均年齢=54.037歳、平均勤続年数=4年5ヶ月

常勤  名

非常勤  名

## VI. 防災対策 防災訓練（第2有隣ホーム・有隣ケアセンター）

月別	訓 練 内 容	消防署の出向指導	参加者数	
			職 員	利用者
2022年5月	地震発生対応訓練	なし	26	複数名
2022年9月	法人合同消防訓練	なし	5	-
2022年9月	地震発生対応訓練	なし	7	複数名
2023年3月	福祉避難所設営訓練	なし	6	複数名

## VII. 施設・設備整備

項目	金 額
ICT機器 見守りライフ30台 年間レンタル	818,400円
見守りセンサー付き介護ベッド（離床CATCHⅢ）×10台	2,965,600円
	円
	円
	円

# 2022年度 有隣ケアセンター事業報告書

中長期計画および2022年度事業計画に基づき下記の事項を実施した。

## 1. 中長期計画

- (1) 収支改善
  - ・抜本的な業務改善を行い、費用の見直しを行った結果、約1300万円の収支改善をした。
- (2) 個別支援の強化、集団支援のノウハウ強化
  - ・個々の利用者ニーズに応えつつ、集団支援が可能な部分を拡大した。特にレクリエーションにおいては、コロナ感染対策を取りながら行える集団レクを模索し実施した。
- (3) 機能訓練の強化
  - ・昨年度に引き続きコロナの影響で、通常3カ月に1度行う自宅訪問が通常通りできなかつた為、担当者（理学療法士）が家族と頻りに連絡を取り合い、訓練計画の充実に努めた。
- (4) 防災・事故等の対策徹底
  - ・防災訓練はコロナの影響で例年通りには行えなかつたが、利用者参加の地震訓練を2回実施。
  - ・介護事故についてはその都度職員間で情報を共有し、事故の直後に振り返りを行うことにより再発防止に努めた。
- (5) ボランティア、地域との交流回復
  - ・コロナの影響で、今年度も継続的なボランティアの受け入れは実施できなかった。
  - ・感染が減少したタイミングを見て、「こども文化村」の寸劇訪問を受け入れた。（マスク着用、利用者との接近交流はなし）
  - ・クリスマス会には近隣の中学生の訪問を受け入れた。
- (6) 建物改築対策
  - ・別館移転計画を立て、それに向けて関連会議に出席し、必要な準備を進めた。

## 2. 2022年度事業計画

### ①利用サービスの向上

- ・利用者の重度化に対応し、リフトを使用した介護を全常勤介護職員が実施した。
- ・新規利用者の情報を全職員が把握、共有できる工夫をし実施した。

### ②送迎

- ・事業所に待機している職員と常に連絡を取り合い、不測の事態にも対応できた。
- ・コロナ対策として、窓を開けて換気しながらの走行や、乗降時の手指消毒を徹底した。
- ・建築計画に伴い、門までの車路を病院と共有使用せざるを得なかつたが、随時裏門を使用することで混乱を回避できた。
- ・運行ルートの見直しを定期的に行い、効率化に努めた。

### ③健康管理

- ・毎日の健康管理チェック表を作成配布し、利用日に持参してもらうことにより、利用日以外の健康状態と同居家族の健康状態も把握できるようにした。
- ・特養の看護師と連携し、医療的処置（褥瘡・インスリン注射）が必要な利用者の受け入れを継続的に行った。
- ・感染対策を徹底的に行い、クラスターを出さなかつた。
- ・体調不良者に対し簡易キットによる抗原検査を積極的に実施し、安心・安全を確保した。

### ④個別訓練・アクティビティ活動（工作・レクリエーション・行事等）

- ・理学療法士が定期的に家族からの情報収集を行うことで、自宅での動線を意識した訓練計画を立て実施した。
- ・アクティビティ活動については、距離を保って行える内容を新規で6種考案して導入した。

### ⑤地域との交流

- ・自治会主催のイベントに「自宅での介護相談コーナー」を設けて参加した。
- ・「子ども文化村」の児童、及び恵泉女学園中学校の生徒訪問を受け入れ、利用者と距離を保った交流を実施した。

### ⑥給食管理

- ・コロナ禍以前に好評だったバイキング形式の食事提供は、今年度も実施しなかつた。
- 代替として、管理栄養士との連携のもと手作りおやつを4回実施した。

### ⑦介護予防・日常生活支援総合事業

- ・要支援者は保険点数が付かない為に、他事業所で敬遠されがちな入浴を受け入れる等、あんしんすこやかセンター及び個別の利用者ニーズに応じた。（2件）

## (2) 設備計画

- 移転を控えているため積極的な設備導入はせず、必要に応じて保守管理を行った。

## (3) 危機管理

## ①防災計画・事故対策

- ・利用者参加の地震訓練を2回実施した。
- ・介護事故に対しては、その都度原因の究明と再発防止策の検討を行った。

## ②防犯計画

セコムの警備を活用し、防犯対策に努めた。

## (4) 職員計画

- ・介護福祉士実習指導者資格を2名が取得した。今後はキャリア段位制度におけるアセッサーの取得を目指していく。
- ・法定研修「メディパスアカデミー介護」の動画研修において、職員（非常勤含む）全員が全課程を終了し、受講率100%を達成した。

## 〈2022年度事業活動総括〉

昨年度に引き続きコロナ感染症による利用控え等あり稼働率が低迷し、今年度も赤字を計上したが、でき得る限りの業務改善を行い昨年度より少ない職員数で稼働した結果、一定の収支改善ができた。次年度更なる収支改善を実現するためには利用者数の増加が求められる為、それに対応できる介護職員の配置が必須となる。またリハビリ希望者が急増していることから、次年度は有隣病院リハビリ職員との業務連携を進めていく計画である。

## I. 介護保険 通所介護・介護予防通所介護

## 1. 通所介護（要介護）、月別利用者状況

要介護別・加算等		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
通介 要介護1	利用者数	30	27	25	20	19	21	35	35	34	45	52	64	407	7.3%
通介 要介護2	同上	101	98	108	99	101	116	102	96	105	84	73	87	1,170	20.9%
通介 要介護3	同上	196	183	186	181	183	167	167	155	160	170	154	172	2,074	37.0%
通介 要介護4	同上	118	123	129	118	127	108	114	118	118	113	90	108	1,384	24.7%
通介 要介護5	同上	31	32	36	40	30	42	57	62	61	58	56	58	563	10.1%
個別機能訓練加算	同上	360	324	376	337	321	341	350	350	309	336	303	380	4,087	73.0%
特別入浴加算	同上	100	118	123	110	106	112	121	122	121	125	128	133	1,419	25.3%
介助入浴加算	同上	190	174	184	168	171	169	156	154	160	153	144	180	2,003	35.8%
入浴合計	同上	290	292	307	278	277	281	277	276	281	278	272	313	3,422	61.1%
のべ利用者数		476	463	484	458	460	454	475	466	478	470	425	489	5,598	100.0%
実施日数		26	26	26	26	27	26	26	26	25	24	24	27	309	
1日平均利用者数		18.3	17.8	18.6	17.6	17.0	17.5	18.3	17.9	19.1	19.6	17.7	18.1	18.1	

## 2. 介護予防通所介護（要支援）、月別利用状況

要介護別・加算等		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	割合
介予 要支援1	利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
介予 要支援2	同上	0	0	0	0	0	3	4	6	7	6	10	9	45	100.0%
運動器機能向上加算	225単位						1	1	2	2	2	3	2	13	100.0%
のべ利用者数		0	0	0	0	0	3	4	6	7	6	10	9	45	100.0%
実施日数		26	26	26	26	27	26	26	26	25	24	24	27	309	
1日平均利用者数		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.4	0.3	0.0	

## 3. 通所介護（要介護）＋介護予防通所介護（要支援）の合計

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数		26	26	26	26	27	26	26	26	25	24	24	27	309
合計のべ利用者数		476	463	484	458	460	457	479	472	485	476	435	498	5,643
1日平均利用者数		18.3	17.8	18.6	17.6	17.0	17.6	18.4	18.2	19.4	19.8	18.1	18.4	18.3

平均利用者数	2021年度	18.0人	2020年度	16.5人	0	0
のべ利用者数	2021年度	5,550人	2020年度	4,464人	0	0
年間営業日数	2021年度	309日	2020年度	271日	0	0

## 4. 年齢構成（介護予防通所介護＝要支援、通所介護＝要介護）3月末

	年齢	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100以上	合計
要支援	男												
	女								1	1			2
	小計								1	1			2
要介護	男					5	5	8	8	5	1		32
	女			1			1	3	12	14	5		36
	小計			1		5	6	11	20	19	6		68
総合計	男					5	5	8	8	5	1		32
	女			1			1	3	13	15	5		38
	合計			1		5	6	11	21	20	6		70

平均年齢 男82.0歳、女88.5歳、計86.2歳

## 5. 登録者の推移

	前年度末	新規登録者	認定変更	今年度合計	廃止	認定変更	年度末登録者
要支援	0	0	介護→支援 0	3	1	支援→介護 0	2
要介護	68	33	支援→介護 0	101	33	介護→支援 0	68
合計	68	33	0	104	34	0	70

## 6. 廃止理由

要介護+要支援

長期入院	施設入所	重度化	他施設	死亡	転居	その他	合計
1	16	4	1	5	1	6	34

## 7. 1週間あたりの個別の通所回数、3月末

	週に1回	週に2回	週に3回	週に4回	週に5回	週に6回	不定期6回	計
要支援1								
要支援2	2							2
要介護1	3	5	1					9
要介護2	7	5			1			13
要介護3	7	5	4	1	1	1		19
要介護4	5	8	2					15
要介護5	4	1	1			1		7
合計	28	24	8	1	2	2		65

## II. 地域交流

## 1. ボランティア受入れ

ボランティア	人数	活動内容
個人	0	
計	0	

## 2. 訪問

	人数	内容
こども文化村	12	寸劇
恵泉女学園	11	歌
計	23	

## 3. 実習受入

学校、団体等名称	延日数
東京医療学院大学	36
計	36

## 4. 体験学習

新型コロナウイルス感染症予防のため今年度受け入れなし

## 5. 見学等

名称	人数
個人	38
団体	0
計	38

## III. 研修

## 1. 施設内研修 第2有隣ホーム、有隣ケアセンター、合同企画

研修内容	日程	回数	参加人数
メディアバスアカデミー介護法定研修 (web研修)	4/1~2/28	—	全職員
事業計画・個人目標設定説明	4月		常勤職員全体
コロナ感染症 発症想定訓練	12/13、12/29	2	6

## 2. 施設外

研修内容	日程	回数	参加人数
今後の総合事業について考える	10/15	1	1

## IV. 会議

会議名	実施回数	備考
衛生委員会	11	職場環境（安全と衛生等）について
広報委員会	7	広報誌作成等
感染症対策委員会	12	感染症の防止について
省エネ委員会	11	節電による経費の削減について
リスクマネジメント委員会	12	事故防止対策について
虐待・身体拘束・接遇向上	12	拘束防止・虐待防止について
人権委員会	12	拘束・虐待・認知症個別ケアについて
給食委員会	10	食事環境の整備について
OJT・研修委員会	11	全職員のスキルアップのための研修等の計画、検討
職員会	12	職員の意見交換
災害対策委員会	11	防災と災害対策について

## V. 防災対策 防災訓練

月別	訓練内容	消防署の出向指導	参加者数	
			職員	利用者
2022年5月	地震発生対応訓練	なし	6	複数名
2022年9月	法人合同消防訓練	なし	1	-
2022年9月	地震発生対応訓練	なし	7	複数名

## VI. 職員構成

職種	常勤職員						非常勤職員					
	今年度当初 在籍者	採用	異動		退職	次年度当初 在籍者	今年度当初 在籍者	採用	異動		退職	次年度当初 在籍者
			入	出					入	出		
所長	1(1)					1(1)						
生活相談員	3(3)					3(3)						
機能訓練指導員							1					1
介護職員	5(2)		1		1	5(2)	2					2
送迎専任ドライバー							1					1
その他							1				1	
計(実人数)	6		1		1	6	5				1	4

※事務員・管理栄養士は特養と兼務

※機能訓練指導員の一部及び介護職員は特養から随時派遣

※退職者には年度末退職者を含む

※次年度当初在籍者には次年度4/1採用者を除く

常勤の平均年齢=52.00歳、平均勤続年数=14年5ヶ月

非常勤の平均年=61.25歳、平均勤続年数=11年9ヶ月

( ) 内は兼務職員数

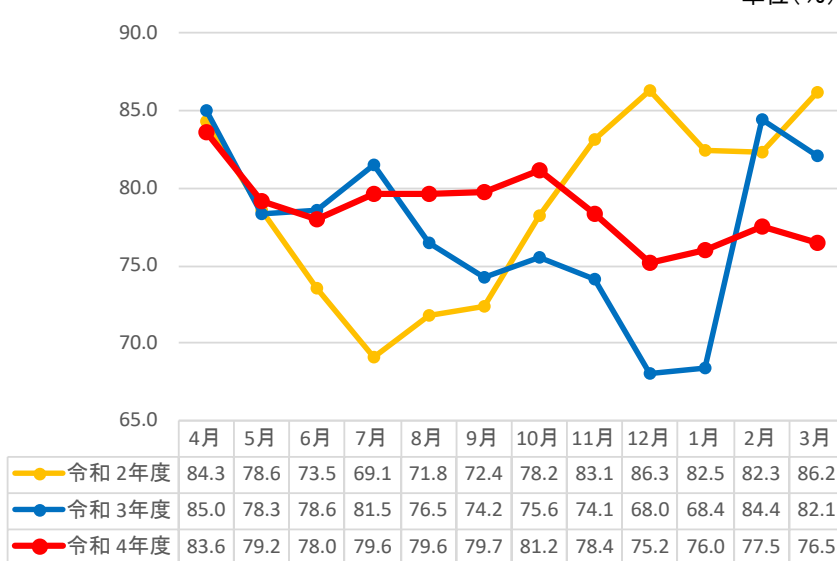
# 2022年度 有隣病院事業活動報告書

## 【入院】

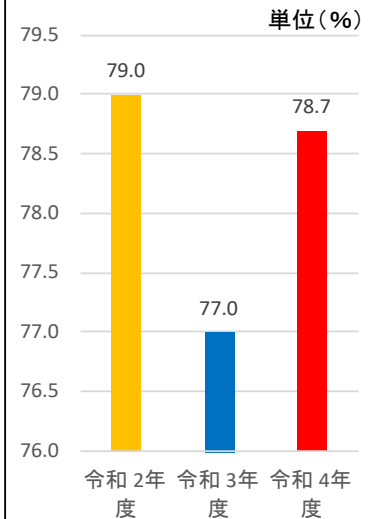
### ≪病床稼働≫

■当年度は、特に上半期において前2か年のような激しい増減は無かったものの、7～8月にかけて新型コロナ第7波による回復期病棟の集団感染の影響等で病床稼働が低く続いた。下半期に入り、繁忙期への突入とともに病床稼働の回復、上昇を目指していたが、今度は新型コロナ第8波の影響により殆どの病棟で集団感染が発生、加えてC3病棟の看護スタッフの減少に伴う受け入れ制限や、B2病棟の在院日数の超過に伴う退院促進等が重なり、病床稼働を回復させることができなかった。

(直近3か年)病床利用率の推移



病床利用率  
年間平均

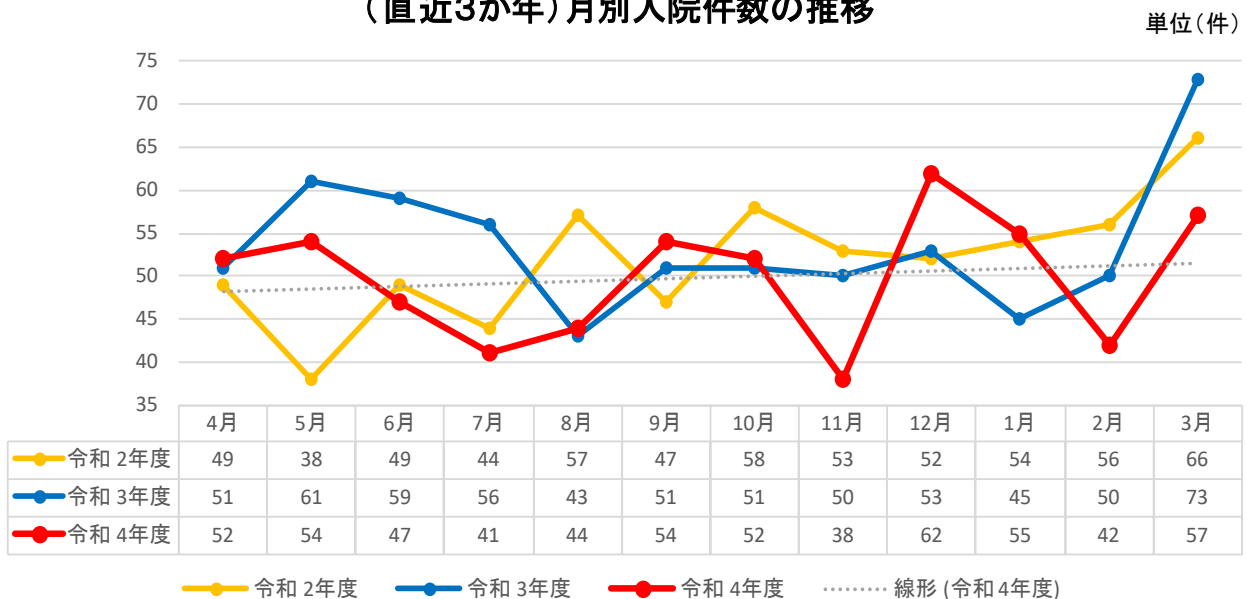


注) 令和3年度の2～3月は、定床数199名で病床利用率を算出。

### ≪入院件数≫

■前項のとおり、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う院内での集団感染により、特に7月、11月と新規入院の受入を制限せざるを得なかったことが大きく影響した。

(直近3か年)月別入院件数の推移

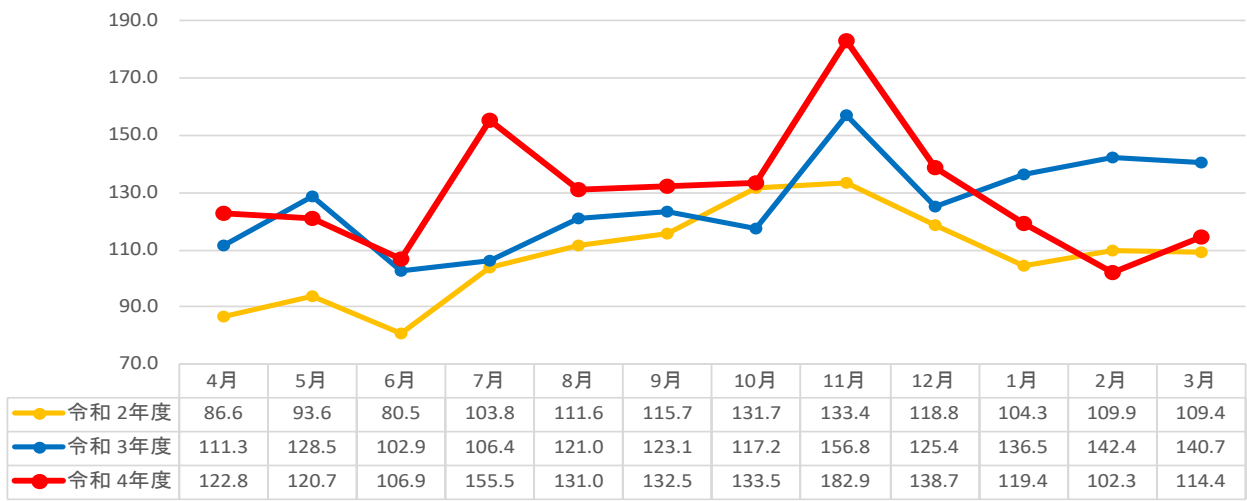


【外 来】

■入院とは対照的に、新型コロナによる発熱外来への受診増により、ほぼ通年増加傾向を維持した。特に夏期の第7波及び冬期の第8波では、発熱外来への受診者数が急増した。

(直近3か年)外来1日平均患者数の推移

単位(人)



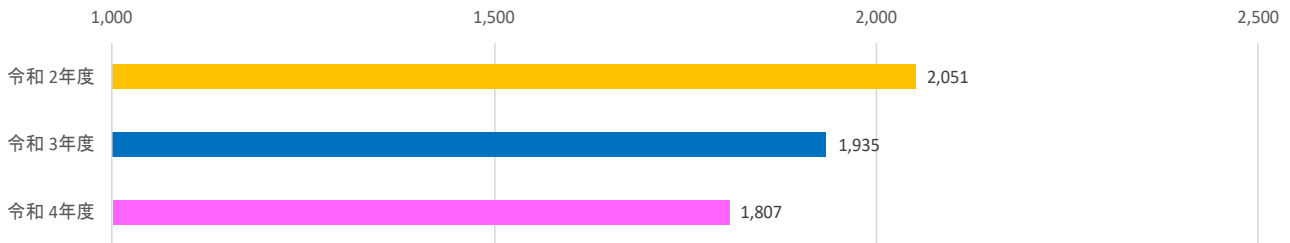
注) 併設両施設入居者の受診者数を含む。

【医業収益及び損益】

■院内での2度にわたる新型コロナ集団感染や年度末の看護体制の問題による受入制限が大きく影響して、直近3か年での報酬実績が振るわなかった。診療報酬改定による増点やアフターコロナ患者受入による特例加算、外来では発熱外来への受診増と「特定疾患療養管理料」の算定開始などプラス要因もあったが最大限生かせなかった。損益では、医業収益の低迷に加えて、物価や光熱費の高騰、別館移設に伴う支出の増大も累積の赤字となったことに影響した。

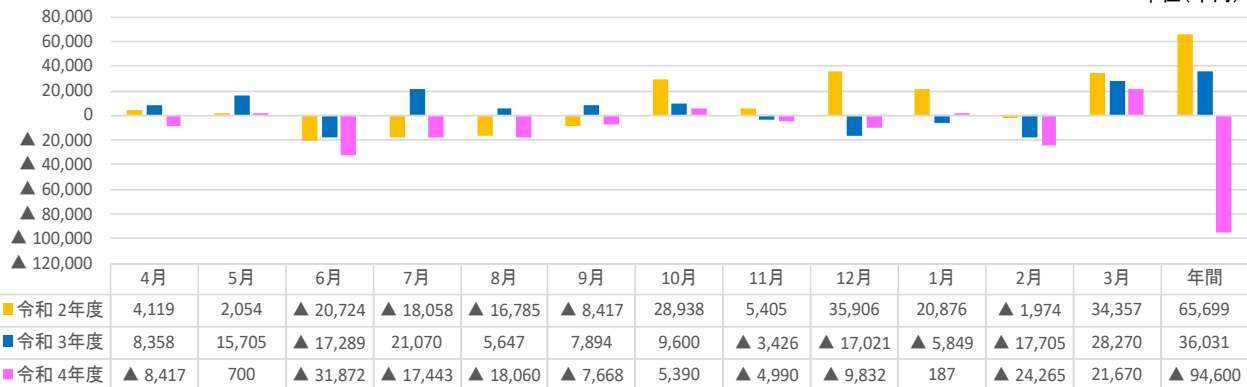
(直近3か年)年間医業収益比較

単位(百万円)



(直近3か年)月次損益の推移

単位(千円)





外来・入院  
診療実績

単位(名)

	外 来			入 院			
	医 科	歯 科	計	一般病棟	療養病棟	回復リハ病棟	計
年間延べ患者数	31,709	4,418	36,127	13,835	16,982	26,356	57,173
前年度	30,525	5,673	36,198	15,103	27,061	25,987	68,151
月平均	10,570	1,473	12,042	4,612	5,661	8,785	19,058
1日あたり	130.5	18.2	148.7	37.9	46.5	72.2	156.6
前年度	125.6	23.3	149.0	41.4	74.1	71.2	186.7

入退院と  
在院日数

入退院(病棟間転入転出)と在院日数										
		一般病棟		療養病棟		回復リハ病棟		計	対前年差異	対前々年差異
		人数	内訳	人数	内訳	人数	内訳			
新入院	(転入)	261名	(14名)	15名	(84名)	322名	(30名)	726名	93名減	88名減
退 院	(転出)	168名	(113名)	88名	(8名)	356名	(7名)	740名	133名減	60名減
平均在院日数		49.8日		174.2日		73.7日		78.0日	※平均在院日数	
3年度/2年度		41.1日 / 46.3日		104.2日 / 207.1日		76.1日 / 79.6日		67.6日 / 90.1日	延べ入院患者数÷	
病床回転率		7.3回		2.1回		5.0回		4.7回	(新入院・転入数+退院・転出数)÷2	
前年度		8.9回		3.5回		4.8回		5.4回		

入院経路  
と退院先

新入院(名)							退院(名)					
年齢区分	患者数			入院経路別内訳			入院から退院までの期間	自宅退院	転院等	施設へ	死亡	計
	男	女	計	外来他	転入院	施設から						
50歳未満	10	2	12	2	9	1	1か月未満	51	32	23	47	153
50歳台	20	6	26	9	17	0	1か月以上～3か月未満	134	99	14	36	283
60歳台	23	5	28	3	25	0	3か月 " ～6か月 "	30	54	2	19	105
70歳台	52	53	105	7	93	5	6か月 " ～9か月 "	1	7	1	9	18
80歳台	113	168	281	30	228	23	9か月 " ～12か月 "	0	13	0	8	21
90歳超	42	104	146	9	115	22	12か月 " ～15か月 "	0	8	0	7	15
計	260	338	598	60	487	51	15か月 " ～18か月 "	0	3	0	0	3
※「施設から(へ)」は、有隣(第2有隣)ホーム、芦花ホームを示す。 ※退院の「転院等」は、他の特養及び老人保健施設入所を含む。							18か月 " ～24か月 "	0	4	0	0	4
3年度	261	382	643	65	507	71	24か月以上	0	6	0	4	10
2年度	300	364	664	67	513	84	計	216	226	40	130	612
							平均入院期間	65.2	145.9	41.1	142.8	109.9
							3年度	67.3	203.0	76.0	130.3	110.1
							2年度	72.0	147.4	34.4	146.0	112.2

診療費の  
行為別内訳  
(1人1日当)

医科 外来	年	(円)								
		診察料	投薬	注射	処置	手術	検査	画像診断	リハビリ他	計
	2年度	998	83	872	49	36	1,295	419	446	4,198
	3年度	1,009	80	1,228	40	28	1,304	299	380	4,366
	4年度	1,316	195	1,218	41	20	1,759	284	416	5,249

入院	年	入院 基本 料	(円)									合 計
			投薬	注射	処置	手術輸血	検査	画像診断	リハビリ他	診察料	計	
一 般 病 棟	2年度	14,866	388	1,671	861	55	766	318	1,307	30	5,398	20,264
	3年度	15,130	295	1,816	1,061	75	887	334	1,668	33	6,170	21,299
	4年度	17,558	373	1,849	856	54	908	245	1,557	30	5,873	23,431

療 養 病 棟	2年度	17,475	10	0	304	4	30	38	532	4	922	18,397
	3年度	18,108	3	0	408	2	42	46	325	2	828	18,937
	4年度	18,915	16	0	379	2	136	30	399	1	965	19,880

回 復 リ ハ	2年度	25,772	80	0	0	0	81	2	17,993	0	18,158	43,930
	3年度	25,508	75	0	1	1	194	4	15,780	0	16,056	41,565
	4年度	27,371	92	10	0	0	269	5	14,931	0	15,307	42,679

投薬  
薬剤管理

	年間計				1日当				処方技術料	薬剤料
	処方箋枚数	(前年度)	調剤件数	(前年度)	枚	(前年度)	件	(前年度)		
入院	14,931	16,286	28,183	30,922	50.4	55	95.2	105	88,146	2,471,015
外来	1,840	1,104	2,807	1,892	6.2	4	9.5	6	120,235	4,351,624
院外処方	0	0			0	0			208,381	6,822,639
計	16,771	17,390	30,990	32,814	56.6	59	104.7	111	328,616	11,174,263

◇薬剤管理指導料 380件 ◇薬剤情報提供料 1,797件 ◇退院時薬剤情報管理指導料 36件 ◇無菌製剤処理加算(IVH) 1,535件

検査

入院外来計	上部内視鏡	下部内視鏡	超音波	その他 生理機能	生化学	血液	血清	細菌	尿	病理	特殊検査	PCR検査	計	「検査」全体の 診療報酬(点)
2年度	182	72	248	3,141	5,977	5,129	147	826	2,865	64	286	4,458	23,395	4,868,941
3年度	233	50	305	3,952	6,009	5,378	182	643	3,668	48	208	5,053	25,729	5,964,711
4年度	210	43	327	2,830	5,172	5,048	105	540	2,680	30	283	7,088	24,356	7,802,349
1ヶ月当り	18	4	27	236	431	421	9	45	223	3	24	591	2,030	650,196
1日当り	0.6	0.1	0.9	7.8	14.2	13.8	0.3	1.5	7.3	0.1	0.8	19.4	66.7	21,376

画像診断

	一般・パントモ撮影		造影剤撮影		CT		計(健診含まず)		診療報酬(点) (健診等含まず)
	件数	回数	件数	回数	件数	回数	件数	回数	
2年度	5,148	7,340	78	112	1,589	0	6,815	7,452	1,565,859
3年度	5,728	8,323	92	139	1,497	0	7,317	8,462	1,561,916
4年度	5,516	8,191	109	148	1,401	0	7,026	8,339	1,309,341
1日当り	22.7	33.7	0.4	0.6	5.8	0.0	28.9	34.3	5,388.2
入院	2,291	2,767	64	64	867	0	3,222	2,831	409,196
外来	3,225	5,424	45	84	534	0	3,804	5,508	900,145

フィルムレス化のCT枚数は、0となります。(画像管理加算算定)

リハビリ  
テーション

	外来			入院			計			
	実患者数	年間単位数	1日当	実患者数	年間単位数	1日当	実患者数	年間単位数	1日当	PT・OT・ST
	名	単位	単位	名	単位	単位	名	単位	単位	1人1日当
理学療法	0	0	0.00	519	119,834	328.3	519	119,834	328.3	15.3
作業療法	0	0	0.0	473	59,021	161.7	473	59,021	161.7	15.3
言語療法	0	0	0.0	256	21,138	57.9	256	21,138	57.9	15.5
計	0	0	0.0	1,248	199,993	547.9	1,248	199,993	547.9	15.3
診療報酬	年間総点数 0			年間総点数 42,355,534			年間総点数 42,355,534			

保健予防  
活動

	件数	(前年度)	受託料	(前年度)	備 考
特定健康診査	700	747	11,175,624	14,008,712	
区胃肺乳癌検診	1,956	2,004	12,942,046	14,290,073	胃がん内視鏡、大腸がん検診含む
区骨粗鬆症検診	13	14	66,352	71,456	
区肝炎ウイルス	30	25	134,979	111,833	
都原爆検診	16	8	314,253	154,960	
その他個人健診	950	1,055	6,098,659	7,258,688	季節性インフルエンザ予防接種、肺炎球菌ワクチン
事業所健康診断	688	691	5,780,686	5,686,450	事業所数25社
施設職員定期健診	459	562	970,784	1,111,927	有隣ホーム等職員健診、定期便検査等、施設職員採用時健診含む
日帰り人間ドック	93	50	1,191,730	536,130	
特定保健指導	48	46	545,140	463,672	
計	4,953	5,202	39,220,253	43,693,901	

医療  
相談室

	件	件
1) 受診の援助	380	8) 家族問題についての援助 22
2) 入院の相談受けと援助	20,278	9) 日常生活援助 123
3) 退院の援助	18,901	10) 心理・情緒面での援助 6
4) 療養上の問題についての援助	1,343	11) 医療における人権擁護 11
5) 経済上の問題についての援助	78	12) その他 7,539 (1日当)
6) 就労についての援助	7	合計 48,710 200.5
7) 住宅についての援助	22	13) クライアント処遇会議 266

入院時  
食事療養

		前年度(人)	4年度(人)	1日当	%
常食		10,536	11,074	30.3	26.4%
軟食	軟菜食	8,498	10,660	29.2	25.4%
	嚥下訓練食	3,022	1,915	5.2	4.6%
流動食		195	38	0.1	0.1%
特別食	糖尿病食	4,447	3,048	8.4	7.3%
	減塩食	4,008	2,877	7.9	6.9%
	胃潰瘍食	117	184	0.5	0.4%
	腎臓病食	52	43	0.1	0.1%
	胆石病食	395	542	1.5	1.3%
	経管栄養	14,512	11,577	31.7	27.6%
	その他	6	6	0	0.0%
計		45,788	41,964	115	100.0%

◆1日平均栄養給与量		
純給与量		
熱量	蛋白質	脂質エネルギー比
Kcal	g	%
1,416	60.9	28.6

栄養相談  
栄養管理  
委員会

◆栄養相談		(件)					
	糖尿病	脂質異常症	高血圧・心臓病	腎臓病	その他	計	前年度
入院	11	0	11	0	12	34	26
外来	140	14	25	0	1	180	186
計	151	14	36	0	13	214	212
◆特定保健指導		(件)				◆生活習慣病教室	
	今年度		前年度		今年度	前年度	
	動機付	積極的	動機付	積極的	年合計	0	0
初回	16	6	21	13	1回平均	0	0
中間	0	26	0	42	1)開催月……新型コロナウイルス感染対策のため中止		
結果	18	4	20	7			
小計	34	36	41	62			
合計	70		103				
月平均	5.8		8.6				

◆栄養管理委員
(委員7名)毎月第3木曜日×12月
入院時食事療養の実施上の留意事項、経管栄養剤検討、科内インシデント報告、栄養指導等
◆嗜好調査 4回(12、1、2、3月)

無料低額  
診療事業

	生保受給者の の受入れ 延べ人数a	全医療費の10%以上の 減免		身障者等の 受入れ c	計 A(a~c)	H30.4.1~H31.3.31 延患者数 B	実績率 A/B	前年度
		延べ人数 b	減免額(円)					
入院	5,755	0	0	2,540	8,295	57,173	14.5%	13.3%
外来	1,361	10	117,320	1,146	2,517	38,644	6.5%	6.4%
計	7,116	10	117,320	3,686	10,812	95,817	11.3%	10.8%
無料健康教室の開催	新型コロナウイルス感染対策予防のため、中止							

光熱水の  
消費

	電力・kw/h		水道(下水料金)・m³		都市ガス m³		計	
	4年度	前年度	4年度	前年度	4年度	前年度	4年度	前年度
年間消費量	1,124,002	1,285,696	17,488	24,775	120,103	191,595		
1日当り	3,079	3,522	48	68	329	524		
消費金額(円)	38,580,193	25,693,150	11,616,033	16,583,078	15,222,707	13,588,591	65,418,933	55,864,819
1日当り	105,699	70,392	31,825	45,433	41,706	37,229	179,230	153,054

院内保育室  
の運営

保育室	内、夜間	保育児童数		1)年間運営費	
開所日数	保育日数	実人員	延べ人数	内、運営委託費	
305日	0日	32名	815名	2)利用病院職員負担金	16,684,440円
				3)東京都補助金	146,303円
					557,060円
					1,432,000円

職員

	常勤職員数		非常勤 実績	計	入院患者 100名当	常勤職員の 採用 退職			常勤職員数		非常勤 実績	計	入院患者 100名当	常勤職員の 採用 退職	
	計画	実績				採用	退職		計画	実績				採用	退職
医師・歯科医師	11	12.1	6.4	18.5	6.8		1	1	2	2.0		2.0	0.7		1
薬剤師	6	5.8		5.8	2.1				6	3.0		3.0	1.1		
診療放射線技師	3	3.0	0.1	3.1	1.1				3	3.0	0.3	3.3	1.2		
臨床検査技師	5	2.0	1.0	3.0	1.1		1		8	3.0	0	3.0	1.1		
理学療法士	28	41.1		41.1	15	4	15		5	4.0	3.0	7.0	2.6		
作業療法士	9	18.7		18.7	6.8		1		19	14.3	8.4	22.7	8.3	2	1
言語聴覚士	6	6.5		6.5	2.4	1	3								
医療ソーシャルワーカー	5	6.6	0.8	7.4	2.7	1									
管理栄養士	4	3.0		3.0	1.1		1		266	217.9	32.3	250.2	91.5	20	49
看護師	60	43.5	8.0	51.5	18.8	4	9		266	244.8	38.7	283.5	103.7	78	54
准看護師	22	11.3	3.1	14.4	5.3		4		φ派遣者(下段)を含まない。						
ケアワーカー	64	35.0	1.2	36.2	13.2	8	12		φ業務委託 寝具類貸与、給食調理、院内保育室						

φ常勤職員数は各月末在職数の平均(休職休業者を含まない)、非常勤職員は就業時間比で常勤職員に換算してあること。

φ令和4年4月1日現在常勤職員平均年齢:41才6ヶ月(令和3年同期:39才7ヶ月)、平均勤続:6年11ヶ月(同:5年4ヶ月)

区分	室名等	項目	型式等	数量	整備費 (円)	
施設・設備 (固定資産) の整備	C棟	地下倉庫(男子更衣室に用途変更)エアコン工事		1式	1,210,000	
		地下女子更衣室エアコン工事		1式	880,000	
		別館案内看板C棟建物取付		1式	176,000	
	発熱外来	6畳、4畳プレハブ		2	3,080,000	
	別館	建物			1式	348,884,218
		受変電設備			1式	12,753,024
		幹線動力設備			1式	5,423,252
		電灯コンセント設備			1式	15,105,310
		照明器具設備			1式	5,978,184
		非常照明誘導灯設備			1式	2,574,518
		自動火災報知設備			1式	4,575,858
		給排水設備			1式	23,489,894
		消火設備			1式	14,125,576
		空調換気設備マルチエアコン			62	24,335,482
		空調配管設備			1式	11,353,375
		換気設備			1式	26,504,975
		自動制御設備			1式	4,628,078
	昇降機設備			1式	6,688,385	
	給食棟	建物			1式	144,352,466
		電気設備			1式	22,232,544
		給排水設備			1式	27,479,733
		空調換気設備			1式	9,360,856
		冷暖房設備			1式	8,920,641
			昇降機設備		1式	10,325,056
			建物(基本)計			734,437,425
	器具及び 備品	検査室	超音波検査装置	キャノンAplio300Platinum	1	3,740,000
			血液保冷庫	PHC製MBR-107T4-PJ	1	363,000
			リアルタイムPCRシステム	サーモフィジャー-QS5-96F-TIP	1	7,502,000
		リハビリ	安全キャビネット	サーモフィジャー-SKU1323	1	1,281,500
			全身運動機器練習用腰掛	ミナトK3340M	1	147,400
		病棟	残尿測定器	キューブスキャンBioCon-900	2	1,386,000
			Eアーマット	ケーブラグーナCR-700	8	876,800
		外来	筋電計	日本光電MEM-8301	1	393,569
薬剤科		薬剤システムサーバー		2	1,331,543	
放射線		PACSサーバー		1	3,080,000	
		ポータブルX線装置バッテリー	TKブランニング	1	322,740	
栄養科		栄養管理システムサーバー&パソコン		1	999,970	
サプライ室		オートクレーブ	ヒルソンデックスSG330L	1	1,104,620	
医事課		医事会計システムパソコン&プリンター	富士通	2	436,980	
厨房		ガス回転釜	服部工業GHSL-4-30	1	660,000	
C棟		汚水槽ブローワーポンプ	東浜工業FE-250S	1	104,000	
		ネットワークLAN配線設備		1式	1,691,157	
ホーム		エントランスホールWiFi		1式	319,000	
		電話設備		1式	3,732,467	
別館		LAN設備		1式	3,167,138	
		外来待合呼出設備		1式	257,322	
		トイレ呼出設備		1式	1,003,295	
		電気錠設備		1式	1,897,423	
		放送設備		1式	5,061,962	
		テレビ視聴設備		1式	408,076	
		超音波検査室ルームエアコン		1式	165,000	
		内線電話配線設備		1式	2,257,432	
		ネットワークLAN配線設備		1式	2,558,545	
		給食棟	渡り廊下ルームエアコン		8	1,038,282
B棟、給食棟		ネットワークLAN配線設備		1式	3,010,298	
		内線電話配線設備		1式	1,625,568	
			器具及び備品計			51,923,087
構築物		発熱外来	発熱外来雨除け		1式	370,000
		構築物計			370,000	
ソフト ウェア	医事課	医事会計システム端末ソフトウェア追加	医療情報システム	1式	793,920	
	放射線科	PACSソフトウェア更新	PSP	1式	880,000	
	栄養科	栄養管理システムソフトウェア更新	バインシステム	1式	1,925,000	
	総務課	給与明細電子化	富士フィルムビジネスインバージョン	1式	221,100	
		ホームページ新規製作	ミルプラトー	1式	3,190,000	
		ソフトウェア計			7,010,020	
		固定資産整備費合計			793,740,532	
新棟建設 仮勘定		アスベスト除去工事			121,000,000	
		ステップ1施工検査時追加要望事項			1,100,000	
		土壌調査2回目			4,103,000	
		建設仮勘定合計			126,203,000	